

千葉県環境審議会鳥獣部会議事録（抜粋）

2004年8月19日

神津自然保護課長

先月の7月22日に、県東部の山武郡成東町木戸浜地先におきまして、シラサギのフン害・悪臭害・騒音害（鳴き声）の被害に悩んだ住民からの強い要望を受けて、地元区長が重機によりサギのコロニーを破壊するという事件を起こしたものです。当日、住民からの通報を受けた県は、現場に急行し、行為を中止させるとともに、翌23日に現地調査を行い、サギ類約200羽の死亡を確認したところでございます。また、日本野鳥の会千葉県支部及び千葉県野鳥の会に23日に事件の概要を説明し、生存しているヒナの保護等について相談しましたところ、現場は現状のまま保全し、ヒナの保護については、人為的な救出は行わず、静観するのが最善の策であるとの指導を受けましたので、そのように対応してきたところでございます。当初1,000羽を超えていた現地のコロニーも、巣立ちが終わり、現在では、分散、巣立ちによりまして、約100羽ほどに縮小しているのが現状でございます。なお、行為者に対する処分等については、現在のところ検討している段階でございます。以上でございます。

柴田部会長

成東のサギの件については、先日、あるジャーナリズムから取材を受けたのです。というのは、私が鳥獣部会長だからということではなくて、三浦半島でこの春に、アオサギのコロニーが県の天然記念物に指定された森に住んで、そのフンや何かでその森が枯れるという問題、それから近所の人のアメニティで、うるさいとか、毛が飛んでくるとか、臭いとか、洗濯物にフンがかかるというようなことでかなり大きな問題になって、駆除するとなったときに、おまえはその方面は専門だそうだからということで呼ばれて、私は19通り駆除の方式を提示したのです。ですけど一つ確実なものは絶対にありませんよということで、結果的にはラジコンのヘリコプターと爆竹で追い払うのをやって、かなりいい成果を上げました。400羽ぐらいいたのが分散して、この間の日曜日に見に行ったら1羽しかいないです。成東もそうだと思うのですが、繁殖が終わって巣立ったヒナを連れて親たちがみんなどっかに行っちゃっていますから、現在はおそらく問題はないと思います。この問題については、私は、そういう申し上げ方は無礼かもしれないけれども、県の当局の最初の動きがあまりよくなかったのではないかとにかく電話があつたらすぐ現場へ担当官が飛びなさい、そして地元の人に「さぞかしお困りでしょうけど、私たちも努力するからお力添えを」ということで、パートナーシップとか協働の基本のベースをこしらえて、それで対応する。たいてい地元の人が電話か何かで県に申し入れてくると、それでは書類を上げなさい、私たちは駆除の手続きをしましよと、それで少なくとも1週間かかるのですね。

1週間かかりますと被害甚大になっちゃって、野菜や何かですと出荷も過ぎてしまっている。そうすると、ものすごい行政不信で、何をしているかということで話がこじれてくるのですね。今回の場合も、私有地にユンボか何かを入れて植生をぶっ壊したのと、それに付随してかなりたくさんヒナや卵を落として死に至らしめた。これは明らかに鳥獣法の違反になるし、私有地に無断で入れたということは大きな問題になります。ところがそれをやった人は、おそらく地元の人から見れば、佐倉宗吾郎のような義心でもって我々がやってもできないようなことを敢然とやったというような形で社会的に賞賛されるという事態になってくると、では行政は何をしていたのだということで、行政の立場は非常に具合が悪くなりますね。そういうことで、私は取材に対して、かくかくしかじかなので冷静に取材してください、行政が悪いと決めつけることはできませんよ、地元の人たちがいいのだというようなことも、とにかくこういう法に抵触するようなことをやっている、もっと行政ときめ細かく相談して対応するという手もあったはずなのだ、その辺のところをジャーナリズムとしてはきちんと明らかにした取材をしてほしい、決して、タカ派、ハト派という分け方をして、一方が悪くて一方がいいというセンセーショナルな書き方をしないでほしいと。この取材者は、私のところに来て一部始終を見ていますので、比較的客観的にそういうことが書ける人物だと思います。私からも頼んでありますので、取材に見えたら、柴田がくれぐれもそう言っていましたとおっしゃってください。そうでないと、とにかくこういうのは判官びいきで、行政が悪者にされちゃうのです。ちょっと初動がまずかったかなと思います。まず現場へ飛んでいくことが一番大事だと思いますね。もっと言わせていただければ、その晩一升瓶を下げてもう一度行くというコミュニケーションがとても大事だと思う。一升瓶下げて、一緒に飲んで、それこそ胸襟を開いて一緒にやりましょうよというのがすごく大事。地元の方は、行政は自分たちが信託している存在だという認識はほとんどないと思うのですね、日本の場合には。だから、行政が的確に動いてくれないと、敵みたいな存在に見られてしまう。冷静に対応していただけたらと思います。